

# 会長・副会長の声



平成16年度『MJLC』副会長  
阿部志穂さん（西町）

加茂農林高等学校生物工学科1年。  
中学2年から『MJLC』に入り、  
現在に至る。

—今後の目標は？—  
渡辺さん いろんなところに活動を  
増やしていきたいです。遊びを子ども  
たちに教えることだけが、ジュニア  
リーダーの役割ではなくて、例えば老  
人ホームに行くなど、いろんなことを

—会長、副会長として心掛けている  
とはありますか？—  
渡辺さん 会長という立場は、みんな  
の見本となるように活動しないとい  
けないと思うので、子ども会への派遣  
とかいろんなことに、積極的に参加し  
ていきたいと思っています。

阿部さん 私も子ども会への派遣と  
かに、いっぱい出ようと思っています。私  
より上の人がまとめるのがつま  
いと思いますが、副会長というみんな  
をまとめていく立場に慣れていかな  
ければいけないあとだと思います。

阿部さん 『MJLC』を知らない子  
ども会もあると思うんです。知らな  
い子ども会の人たちにも利用してほ  
しいですね。

—最後に、市民の人たちに知ってもら  
いたいことなどはありますか？—

渡辺さん 子ども会の活動で、レクリ  
エーションの指導をしてほしいとか、  
活動の裏方をやってほしいとか、何で  
もいいので、いろんなところに活動を  
広げたいと思っていますので、ごんごん  
呼んでください。

阿部さん 同じようなことになるの  
ですが、やっぱり活動を広げていきま  
いというのがあります。子ども会へ行  
くことが多いのですが、子どもといっ  
ても耳が不自由な人とかもいるじゃ  
ないですか。私たちが手話を覚えて、  
聴覚障がい者の人たちと交流できた  
らいいなあとと思います。

会長、副会長として、メンバーを引っ張っ  
ていく渡辺さんと阿部さん。そんな二人  
に、メンバーを代表して話を聞きました。



平成16年度『MJLC』会長  
渡辺謙太さん（前平町）

可児工業高等学校機械科1年。  
中学1年から『MJLC』に入り、  
現在に至る。

—『MJLC』に入ったきっかけは？—  
渡辺さん 小学5年生の夏休みにア  
ドベンチャーキャンプに参加して、  
『MJLC』の存在を知りました。その  
ときに、ジュニアリーダーの人たちが  
すごく大人に見えて、自分も中学生に  
なったら、ジュニアリーダーとして活  
動したいと思いました。

阿部さん 『MJLC』を知る前から、  
ボランティアに興味がありました。中  
学生るとき、学校でボランティアの募  
集があったときは、毎回参加してい  
たこともあり、何かボランティア団体  
に入りたいと思っていましたが、『MJ  
LC』という団体があると聞いて、  
じゃあやってみようと思いました。

—子どもたちにレクリエーションを  
教えるときに心掛けていることはあ  
りますか？—

渡辺さん レクリエーションを教え  
ることも大切だと思いますが、レクリ  
エーションを通して教育するという  
か、大人になるためにいろんなことを

教えることが必要だと思います。例え  
ば、「人の話を聞くときは、ちゃんと聞  
く」というようなことか。

—『MJLC』に入ってよかったこと、  
うれしかったこと、自分のためになっ  
たことなどはありますか？—

渡辺さん 派遣で行った子ども会の  
子どもたちが、アドベンチャーキャン  
プやクリスマス会に参加してくれて、  
名前を覚えていてくれたときはうれ  
しいですね。

阿部さん アドベンチャーキャン  
プやクリスマス会、交流会などは、自分  
たちが運営するということなので、お店を  
やるのと同じような感覚で、自分のた

遊びを子どもたちに教えることだけ  
が、ジュニアリーダーの役割ではない。

—渡辺さん

手話を覚えて、聴覚障がい者の人たち  
と交流できたらいいなあとと思います。

—阿部さん



①定例会の様子（中央公民館）



②児童館まつりで子どもたちに  
バルーンアートを指導（加茂野  
児童館）



③子ども会でのレクリエーショ  
ン指導（ぷらら・八百津町）